

3.11を忘れない

津波から命を守るために

固防災危機管理課☎43-2147

平成23年3月11日に八戸市を襲った東日本大震災から、まもなく11年が経過します。

この機会に3.11を振り返り、地震・津波災害から自分や家族の命を守るため、今できることから始めましょう。



3.11を忘れない

東日本大震災写真展

東日本大震災の市内の被災状況を撮影した写真を展示します。

- 日時 3月8日(火)～15日(火)
8時15分～17時
※8日(火)は10時から、
15日(火)は16時まで
- 場所 市庁本館1階 市民ホール



東日本大震災記録誌—東日本大震災 八戸市の記録—

八戸市の被害状況、復旧・復興に向けた取り組みをまとめた記録誌「東日本大震災 八戸市の記録」は、各公民館・市民サービスセンター、図書館、南郷図書館、図書情報センター、市庁本館1階市政情報コーナーで閲覧できます。

☞市ホームページ内で「記録誌」を検索



家庭で備える

「非常持出品」と「非常備蓄品」を点検しましょう

避難する際には、非常持出品を持ちましょう。それぞれの世帯状況に合わせ、日頃からリュックサックなどに入れて準備しておきましょう。また、非常備蓄品として、1人3日分程度の食料・飲料水などの準備も必要です。

いつでも確実に使用できるよう、定期的の中身を点検しましょう。マスクやアルコール消毒液などの感染症対策物品も忘れずに。

※東日本大震災の時は、ガソリンなどの燃料供給も滞りました。自家用車などのガソリンは、常日頃から早めに給油するよう心掛けましょう。

☞市ホームページ内で「非常持出品」を検索



自宅の危険箇所を減らしておきましょう

地震などで、多くの方が負傷する大きな原因は、家具の転倒や落下です。市販の防災グッズを使って、家具や家電を固定しておきましょう。配置を変えるだけでも被害を軽減できます。窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ることも、避難する際のけが防止につながります。

市では、地震発生時における家具転倒による事故を防止するため、ひとり暮らしの高齢者などを対象に、家具を固定する器具の取り付け作業を、ボランティアで実施しています。

☞市ホームページ内で「家具転倒防止ボランティア」を検索



いざというときに情報を得るために登録しましょう

ほっとスルメール(安全・安心情報メール配信サービス)に登録すると、地震・気象・火災・防犯などの地域の安全・安心情報を、携帯電話などで受け取ることができます。

登録方法

●携帯電話用

QRコードを読み取り、空メールを送信し、返信メールに従い登録してください。
※迷惑メール設定をしている場合は、ドメイン「anshin.city.hachinohe.aomori.jp」のメールを受信できるように設定してください。



●アプリ(iOS版 Android版)

アプリ検索サイトで「ほっとスルメール」と検索し、インストールしてください。

行動の確認をする

津波警報などの種類と取るべき行動を確認しましょう

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。

●津波警報などの種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波 警報	予想される津波の高さが高いところ で3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波 警報	予想される津波の高さが高いところ で1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	
津波 注意報	予想される津波の高さが高いところ で0.2m以上、1m以下で、津波 による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	— (表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入った り海岸に近づいたりしないでください。



津波から避難するときのポイントを確認しましょう

大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。ただちにできる限りの避難をしましょう。

津波は沿岸の地形などの影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。「ここなら安心」と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。

地域で備える

自主防災組織の活動

災害による被害を最小限に抑えるための取り組みの一つとして、地区の自主防災組織など、地域ぐるみでの活動が重要となっています。

【自主防災組織の活動～根城地区の取り組み～】

根城地区では、今年度、市総合防災訓練を実施し、自主防災組織による避難所開設・運営訓練を行い、地域住民の防災意識の高揚につながりました。



市ホームページ内で「自主防災組織」を検索